

初期コース

平成22年度 藤沢市公益的市民活動助成事業 決定一覧表

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成額
1	NPO法人 藤沢市聴覚障害者協会	聴覚障害を市民へ啓発していく 事業	<p>鶴沼ビーチデフ交流会</p> <p>1. 聴覚障害を理解して貰うために、聴覚障害者と健聴者の共同作業として湘南の海岸の清掃を行なうことによって相互理解を深めることを目的とする。</p> <p>2. 聴覚障害者は、文化的な面へのアプローチの機会が乏しいので湘南における漁獲法の一つである地引網の体験を通して文化教養を身につける。</p> <p>3. 健聴者との交流を深めることを目的とし、更には健康 & 身体づくりの為にビーチバレー & ビーチサッカー交流を行なう。</p> <p>4. 聴覚障害者を理解して戴くことと手話の普及を図る為に「ミニ手話教室」を開催する。</p>	159,000	100,000
2	キャンドルナイト湘南台	キャンドルナイト 事業	<p>本会は活動における目的を、「でんきを消してキャンドルのあかりで過ごす時間・空間を作ることで、ライフスタイルについて考えるきっかけとすること」、「湘南台地域における資源の有効利用」、「世代や立場を越えた交流の場の創出」、「キャンドルづくりを通じた障害者の社会参加を実現すること」とし、以下の事業を行う。</p> <p>1. キャンドルナイトイベントの開催</p> <p>2. 廃油で作るリサイクルキャンドルワークショップの開催</p> <p>3. 市内福祉作業所によるキャンドル制作事業</p>	215,000	99,000
3	湘南にドッグランを作る会	人と犬の共生を考える社会実験 事業	<p>目的:</p> <p>藤沢市内で犬を飼う家庭が増えるに伴い糞の放置やむだ吠えに対する苦情も増えているのが実情ある。必ずしも犬が好きな人ばかりと限らない中、犬を飼う人のマナー向上が地域の中で共存していくうえで不可欠である。今回大会として、社会生活の中で人と犬が共生してくための方策を実践的見地から企画・考察し、将来的には行政との協働も視野に入れた基礎的事業を行う。</p> <p>内容:</p> <p>藤沢市内南部で会場を確保し、しつけ教室やドッグランの社会実験を行い、問題点の検出や期待される効果の検証を行う。</p>	180,000	100,000
	合計		3団体	554,000	299,000

発展コース

平成22年度 藤沢市公益的市民活動助成事業 決定一覧表

(円)

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成額
1	藤倶楽部	市の花フジの保護育成 事業	2009年度実現した「引地川・フジ史跡ロード」の各公園にある藤棚のフジが将来に向かって毎年継続して開花し、市民に親しまれる憩いの空間を維持する為に、公園を管理する業者に適切な時期の正しい剪定をさらに徹底させ技術向上を図る為、専門家による講習会を本年度も開催する。また、市民の意識を高める為に市民参加を意図し、市民向けの講習会を行い、参加者の中から、市役所のフジの剪定等藤倶楽部の活動に参加する会員を募る。引地川沿いのフジを充実させながら、合わせて境川沿いの「フジロード」の完成を目指し、準備、計画の推進を図る。	152,000	75,000
2	特定非営利活動法人 湘南ふじさわシニアネット	「片瀬こま」切削技術伝承支援 事業	目的: ① このままでは藤沢の伝統工芸である「片瀬こま」が途絶えてしまうためシニアの力を結集して切削技術を修得する。②「片瀬こま」を基軸に市民をあげての郷土愛の醸成に寄与する。③ 各種イベントを介して、年齢を問わず交流の場を広げる。 内容: 現在、一人で製作に当たっている「片瀬こま」について次の支援を行う。 ① 安定した材料調達方法の仕組み作り・椿の木(本体)・芯棒(椶木)・紐(麻) ② 切削技術の修得・本体加工(外形削り、芯棒穴)・着色・麻紐製作 ③ 切削機械の併設・切削機械の併設による製造の安定化 ④ 各種イベントへの参加による普及の促進。 ⑤ 販売促進	602,400	300,000
3	鶴沼を語る会	江戸時代の鶴沼村庶民の信仰の講演記録と設置された相模国準四国八十八ヶ所札所の現況調査報告書の公開出版 事業	事業目的 鶴沼を語る会の主たる事業(団体概要書参照)は、郷土史の発掘調査と報告を会誌・HPへの掲載・公開で市民、市教育機関に提供を行って来ます。今般の出版は広範な調査から170ページ超となり、提供部数が増え、無償提供配布貫徹に申請となりました。 内容 ①鶴沼公民館共催講演会「鶴沼村庶民の弘法大師信仰」圭室文雄先生の講演録と相模国準四国八十八ヶ所札所の資料60ページ白黒印刷 ②八十八ヶ所札所の現況調査報告書・各札所ページ88ページ白黒コピー ③講演風景入りページ1 ④札所所在地図1 ページのカラーコピー ⑤札所大師像88体 4体/P 22ページカラーコピー ●表紙 2 を含み174ページの会誌100号(特別号)の250 部の出版	335,000	160,000
4	ふじさわこども まちづくり会議実行委員会	ふじさわこどもまちづくり会議 事業	身近なまちの自然環境や街並みをタウンウォッチングで体感してもらい、地域の人々に、その地の歴史、良いところなどについて現場を検証しながら語ってもらいます。そして、それらから学習したことを活かし、グループディスカッションなどを通して、未来につなげる自分たちの住むまちを提案。最後に未来のまちの姿を模型によって表現します。以上の内容を、2日間の日程で行い、こどもたちが「まち」について考える機会を提供しています。 毎年藤沢市の13地区から1地区を選定し、今年度で13年目となります。	951,798	400,000
5	片瀬地区福祉ボランティア しおさい	片瀬地区福祉ボランティアしおさい 創立10周年記念 事業	片瀬地区福祉ボランティアしおさい は、平成12年6月1日設立以来、藤沢市片瀬及びその周辺地区に居住される高齢者が住み慣れた場所で安心して心豊かに生活をしてゆかれることを願い、その生活支援を継続して行っており、本年1月1日現在の活動累積時間は8,453時間に及んでいます。活動開始以来の草の根活動を満10年間たゆむ事なく行ってきた本年、10周年記念事業を起し本会設立の趣旨と活動実績を広く周知し地域全体に本会活動の理解と賛同、支援をも戴き、本会の存在の認知と更なる活動範囲の拡充を図りたく「創立10周年記念事業」を計画致しました。	500,000	250,000

No.	団体名	事業名	計画概要	事業費	助成額
6	特定非営利活動法人 くらし・環境・再生ネットワーク	ひまわり日本語教室 事業	地域の外国籍の子ども達の日本語学習のサポート事業。 会話は差しかええない様だが、日本語の読み書きについての習熟・学習言語の習得、学力の定着をめざす。 日本語習得の不足が原因での小・中学校の不登校などの防止にもつながると考える。	410,000	400,000
7	傾聴連絡会	実践的に普及させる 事業 (公開「傾聴講演会」・「傾聴コーディネイター 養成ゼミナール」事業)	私達の住む藤沢市でも日々を孤独に過ごさざるをえない高齢者の方々は、益々増えてきている現状にあります。その中でも特に、在宅における独居および日中独居高齢者、また高齢者在宅系施設に於いては職員数に限りがある為、人との触れ合いが少なく、淋しい・話し相手が欲しいなどの声を多くお聞きします。その様な声に少しでもお答えしたく訪問傾聴活動を続けていますが、まだまだ「傾聴」に対するご理解、社会的認知が不足している事を痛感しております。 そこで市民対象の「講演会」を通じ啓蒙活動を進めると同時に「傾聴コーディネイター」を養成し、「傾聴訪問活動」のレベルアップを計り質の高い支援体制を確立して行きたいと思っております。	412,500	200,000
8	善行雑学大学	「藤澤カントリー倶楽部・同グリーンハウスの 歩み」編纂 事業	藤沢(善行)に日本一古い昭和の史跡があることをご存知ですか？ 昭和7年に開設された「藤澤カントリー倶楽部」のクラブハウス「グリーンハウス」です。現在神奈川県体育センター第2合宿所として利用されているが、子供達からは「お化け屋敷みたい」というほど寂れています。雄大なスロープに富み、富士山・江ノ島・相模湾を眺望する関東一の「湘南の邸園コース」とクラブハウスのことは地元の歴史研究者や地元誌・学校史誌などに記されているが、忘れ去ろうとしています。「藤澤カントリー倶楽部とグリーンハウスの歩み」を編纂して後世に伝え、「日本一の歴史資産」の保存再生につなげて行きたい。	799,500	272,000
9	青空自主保育でんでんむし	でんでんむし10周年記念 事業	目的: 青空自主保育「でんでんむし」の10周年を記念した冊子作成と記念講演会を実施する 内容: 「でんでんむし」が始まってからまもなく10年を迎えます。たくさんの方々に支えられながら継続できたこと、そして私たちの活動の啓蒙活動も含めて、10年の歩みを踏まえた活動内容・写真を中心とする冊子を作ります。そして、記念講演会では、でんでんむしの親たち、私たちの活動に関わりのある方々、青空自主保育に興味のある方々などの関心を引き育てのパワーアップをはかるような内容になるよう進めていきたいと思います。	288,000	144,000
	合計		9団体	4,451,198	2,201,000

※発展コースNo.6 特定非営利活動法人くらし・環境・再生ネットワークについては、発展サポート制度による申請。

※発展コースNo.8 善行雑学大学については、第2次審査で次点となったことから、助成額は272,000円で決定した(当初申請額400,000円)。